

# 中国地方整備局総合評価審査委員会 第1部会(第6回)開催結果の概要

1. 日時：平成20年 9月19日(金) 15:00~17:00
2. 場所：合同庁舎1号館付属棟2階大会議室
3. 出席委員：第1部会 会長 米倉 亜州夫 広島工業大学大学院工学研究科  
                   第1部会 委員 今岡 務 広島工業大学環境学部環境情報学科  
                   第1部会 委員 藤原 章正 広島大学大学院国際協力研究科

4. 議事次第：

(1) 審査対象工事の全体説明

1) 審査対象工事件数・・・全30件

<件数の内訳>

・評価項目・加算点の審査(公告前審査・・・20件)

表1【標準型I型】(施工体制確認型)

工種	施工体制評価点+加算点の合計					計	備考
	50~	60~	70~	80~	90~		
一般土木	-	-	-	5	-	5	
As舗装	-	-	-	-	2	2	
鋼橋上部	-	-	-	1	1	2	
建築	-	1	-	-	-	1	
PC	-	-	-	-	3	3	
電気設備	-	-	1	-	-	1	
暖冷房設備	-	-	1	-	-	1	
Co舗装	-	-	-	-	1	1	
計	0	1	2	6	7	16	

表4【簡易型(施工能力評価方式)】(施工体制確認型)

工種	計
電気設備	1
計	1

表2【標準型II型】(施工体制確認型)

工種	施工体制評価点+加算点の合計					計	備考
	50~	60~	70~	80~	90~		
As舗装	-	-	-	-	1	1	
計	0	0	0	0	1	1	

表3【簡易型】(施工体制確認型)

工種	加算点の合計					計	備考
	50~	60~	70~	80~	90~		
一般土木	-	-	2	-	-	2	
計	0	0	2	0	0	2	

・技術提案の審査(入札前審査・・・・・・・・・・ 10件)

表5【標準型I型】(施工体制確認型)

工種	施工体制評価点+加算点の合計					計	備考
	50~	60~	70~	80~	90~		
一般土木	-	1	-	2	2	5	
鋼橋上部	-	-	-	1	1	2	
建築	-	1	-	-	-	1	
計	0	2	0	3	3	8	

表7【簡易型(施工能力評価方式)】(施工体制確認型)

工種	計
建築	1
計	1

表6【簡易型】(施工体制確認型)

工種	施工体制評価点+加算点の合計					計	備考
	50~	60~	70~	80~	90~		
一般土木	-	-	-	-	1	1	
計	0	0	0	0	1	1	

・施工体制確認型 開札後整理案件・・・・・・・・ 4件

表8

工種	総合評価方式	施工体制評価点+加算点の合計					計
		~60	60~	70~	80~	90~	
一般土木	標準	-	-	-	1	-	1
PC	標準	-	-	-	-	2	2
鋼橋上部	簡易	-	1	-	-	-	1

[対象期間:H20.8.22~H20.9.19]

(2) 審査対象工事の個別説明

対象工事件数・・・・・・・・・・・・・・・・ 4件

- ・ 尾原ダム管理庁舎建築工事
- ・ 西広島バイパス廿日市高架橋串戸鋼上部工事
- ・ 広島南道路宇品舗装工事
- ・ 広島合同5号館その他電気設備工事

5. 主な意見の概要

技術提案の視点の設定について

- ・ 業者より提出された技術提案に発注者として期待した提案が見受けられない工事があるが、どのように考えているか。

→ 入札説明書等に具体的に求める提案を記載すべきであったと考えている。

関係機関協議に係る技術提案について

- ・ 関係機関協議が必要な技術提案を評価しないのは、どのような判断か。

→ 関係機関協議が必要な技術提案は、協議結果によって施工できない場合がある。しかし、その技術提案に関しても契約上、履行義務が発生し、業者に罰則を与えなくてはならなくなるため（その技術提案を評価することによって、落札者を決定しているため）、有効な技術提案についても評価しないとしている。

しかし、契約後、再度提案いただき、有効な技術提案と事務所にて判断し、かつ関係機関協議に認められるものについては、実施していただくことを妨げるものではないこととしている。

工事中の交通安全対策について

- ・ 工事中の交通安全対策について、工事施工区間の道路に対する技術提案も重要であるが、根本的な交通量の低減に関する技術提案についてはどのように判断するか。

→ 工事を施工するにあたっての渋滞に関して、交通量の低減は非常に有効であるが、他機関や近隣住民との調整が必要であり、発注者としての責任に関する事項であると判断しており、技術提案の評価対象と考えていない。

コンクリートの養生について

- ・ 土木工事共通仕様書において、湿潤養生期間は5日以上となっているが、実状として5日しか行っていない工事が多数見受けられる。湿潤養生は非常に重要であるため、長期間湿潤養生する提案に対する評価を考慮していきたい。

→ 部会で頂いたご意見については、今後の総合評価実施での参考とする。

日時：平成20年9月19日（金）15：00～17：00  
合同庁舎1号館附属棟2階 大会議室

# 平成20年度 中国地方整備局総合評価審査委員会 第一部会(第6回)

## 議 事 次 第

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 事

### 【工事関係審査】

1) 審査対象工事の全体説明

2) 審査対象工事の個別説明

### 【業務関係審査】

3) 審査対象業務の全体説明

4) 審査対象業務の個別説明

4. 閉 会